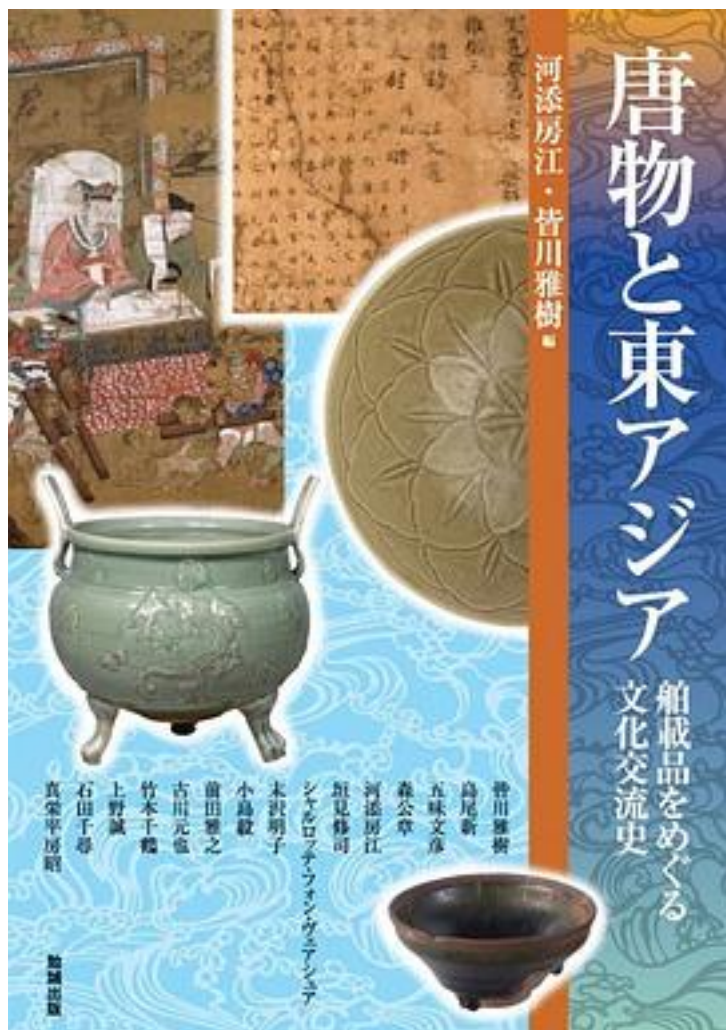


唐物と東アジア



[唐物と東アジア_下载链接1_](#)

著者:河添房江

出版者:勉誠出版

出版时间:2011-11

装帧:单行本（ソフトカバー）

isbn:9784585226130

唐物とよばれる舶載品が、奈良から平安、そして中世や近世まで、どのように受容さ

れ日本文化史に息づいているか。

美術品や歴史資料のみならず、文学資料も用いて明らかにする。

作者紹介:

河添房江（かわぞえ・ふさえ）

1953年生まれ。東京学芸大学教育学部教授。

『源氏物語』を中心に平安文学を専攻。特に唐物を媒介に、古典文学と東アジアの関係を研究している。

著書に『源氏物語表現史』（翰林書房 1998年）、『性と文化の源氏物語』（筑摩書房 1998年）、『源氏物語時空論』（東京大学出版会 2005年）、『源氏物語と東アジア世界』（NHKブックス 2007年）などがある。

皆川雅樹（みながわ・まさき）

1978年生まれ。専修大学附属高等学校教諭。

専門は日本古代史。現在は、古代東アジアにおけるモノの交流史と政治・文化史との連関を中心に研究している。

論文に「平安期の「唐物」研究と「東アジア」」（『歴史評論』680 2006年）、「モノから見た遣唐使以後の「東アジア」の交流と「日本」」（『東アジア世界史研究センター年報』5 2011年）、「日本古代の対外交易と「東部ユーラシア」」（『歴史学研究』885 2011年）などがある。

目録: 序にかえて 河添房江

「唐物」研究と「東アジア」的視点—日本古代・中世史研究を中心として 皆川雅樹

日本美術としての「唐物」 島尾新

【コラム】唐物と日本の古代中世 五味文彦

奈良時代と「唐物」 森公章

上代の舶載品をめぐる文化史 河添房江

『万葉集』と古代の遊戯—双六・打毬・かりうち 垣見修司

平安時代と唐物 シャルロット・フォン・ヴェアシュア

算賀・法会の中の茶文化と『源氏物語』—書かれざる唐物 末沢明子

【コラム】唐物としての書物 小島毅

唐物としての黄山谷 前田雅之

中世唐物再考—記録された唐物 古川元也

戦国織豊期の唐物—唐物から名物へ 竹本千鶴

【コラム】唐物と虚栄心の話をしてよう！ 上野誠

江戸時代の唐物と日蘭貿易 石田千尋

琉球使節の唐旅と文化交流 真栄平房昭

・ ・ ・ ・ ・ [\(收起\)](#)

[唐物と東アジア_ダウンロード1](#)

标签

東亞史

文化史

唐史

博物學

评论

[唐物と東アジア_下载链接1](#)

书评

[唐物と東アジア_下载链接1](#)